

政策調整会議の概要

開催日 平成 22 年 7 月 29 日 (木)

◎項 目

- 1 平成 22 年度上半期における治安情勢について【警察本部】
- 2 平成 23 年度国の概算要求基準について【東京事務所】

◎内 容

- 1 平成 22 年度上半期における治安情勢について【警察本部】

警察本部から平成 22 年度上半期における治安情勢について説明を行った。

【概要説明】

- ・上半期に警察本部に届け出があった犯罪の認知件数は 4,328 件と、特に 21 年から 5,000 件を下回っている。全国及び四国全体でも減少傾向にあるが、特に四国他 3 県に比べても高知県は一番減少率が高く、マイナス 10%の減少率となっている。
- ・具体的には、全件の約 79%程度を占めている窃盗犯が減少した。一方、強制わいせつが 31 件で、14 件の増加となっている。また、公然わいせつが 19 件で、6 件の増加となっており、わいせつ事案が増加している。また、スリが上半期で 36 件で、17 件の増加となっており倍以上増えている。特に高知県の観光イベントに訪れる観光客を狙ったスリが増加している。
- ・検挙数は過去 10 年間で四国 4 県の中でも一番低く、検挙原因も過去 10 年間で 2 番目に低い。
- ・交通事故の発生状況については、上半期は平成 17 年から 20 件台が続いている。また、死亡者数は上半期では 23 名、そのうち 11 名が高齢者であり、うち 6 名が歩行中、2 名が自転車運転中である。なお、この歩行中、自転車運転中の 8 名のうち、道路横断中の方が 7 名。高齢者の身体能力の衰えにより、事故を避けられないという特徴が表れている。また、飲酒運転では 2 名が亡くなっている。
- ・下半期に向けて、ハード面では、飲酒運転、シートベルトの着用、速度違反等の取り締まりを実施する。また、ソフト面では、高齢者に対する訪問活動や体験型の交通安全教室を積極的に実施し、高齢者の安全意識を高めるよう取り組む。
- ・年間の死亡事故者数 43 名以下の目標設定で取り組んでいきたい。

- 2 平成 23 年度国の概算要求基準について【東京事務所】

東京事務所から平成 23 年度予算の概算要求組換え基準について説明を行った。

【概要説明】

- ・「元気な日本復活特別枠」として 1 兆円を相当程度超える規模のものを設定しているが、この枠を出すために各省庁に 1 割減を要求している。この特別枠については、政策コンテストが実施される。
- ・省庁毎に「概算要求枠」と「要望基礎枠」が示されているので参考にしてほしい。
- ・事業仕分けが秋頃に実施される予定。政策コンテストが実施される時期も含めて、これから各担当チーフと各部局が連携しながら情報収集に努め、所内でも早急に整理をして情報共有しながら取り組んでいきたい。